

「JR連合ビジョン」と
政策提言の実践を通じて
JR産業の持続的成長と
組合員の幸せを実現しよう!
http://www.jr-rengo.jp



日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者 荻山市朗 ●編集者 相良夏樹
facebook
twitter

3産別共同行動・連合と意見交換 交通運輸・観光サービス産業の コロナ禍からの早期回復と持続的成長に向けて

JR連合は、2月21日開催の第79回国会議員懇談会において、今次国会対応に
ついての確約を行い、以降、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属の国會議員等
へJR産業の現状や地域公共交通に係る政策提言の説明を開始した。こうした動き
に呼応する形で、早速国会において質疑が展開された。



2月8日、3産別代表と連合との意見交換

具体的政策要望として、
①安心して移動や観光がで
きる環境や人流の活性化、
②雇用調整助成金や産業雇
用安定助成金による雇用の
確保、③ポストコロナにお
ける需要回復・拡大、④新
しい生活様式に応じた交通運
輸・観光サービス産業のあ
り方への支援について内容

JR連合は、サービス連
合および航空連合と展開し
ている3産別共同行動の一
環として、連合との意見交
換会を開催した。

まず、2月8日には村上
陽子副事務局長、3月3日
には芳野友子会長および清
水秀行事務局長と面会し、
コロナ禍による危機的状況
を乗り越えていくうえでの
課題を共有するとともに、
連合が役員を派遣する政府
の審議会や分科会等での対
応を求めた。

貨物鉄産労九州地区本部で 3人の新たな仲間が加入

九州保全技術センターで働く3人の仲間が、日貨労
(JR総連) から脱退し、3月10日付で貨物鉄産労へ
加入した。
JR連合8万6000人は、この勇気ある決断を心
より歓迎する。
取り巻く環境は厳しい状況が続いているが、ともに
手を携え、課題認識を共有できる仲間を増やし、活
き活きと働き続けることのできる職場・会社を創ってい
こう。

「JR連合ビジョン」を掲げ運動を展開する JR連合・貨物鉄産労への総結集をめざそう

「ONE TEAM」で統一
闘争を展開することとする。
(JR各単組の取り組み、
妥結状況は、右表・2面に
て詳細を報告)

2022春季生活闘争は、
「働きの価値に見合った水
準」へと引き上げるため、
1000円を目安に純ペ
ア統一要求を掲げ各単組で
交渉を展開してきた。コ

2022春季生活闘争 ペア獲得・待遇改善の回答相次ぐ

コロナ禍の長期化に伴い、
JR各社が厳しい経営環境に
置かれている中、JR各単
組は積極的に団体交渉に臨
み、回答を引き出している。
特筆すべきは、JR北労
組・貨物鉄産労でペア回答
を引き出したこと、さらには
JR九州労組で全社員に一
時金支給の回答を得たこと
である。その他単組でも労働
条件・処遇改善といった成果
を引き出している。しかし、
依然厳しい経営状況を見送る
昨年同様ペア実施を見送る
回答に終始した会社もある。



野田国義参議院議員

野田議員は冒頭、
「コロナ禍によって
JRは発足以来最大
の危機に陥っている」
と述べ、「苦しい経
営が続く中で、JR
九州など新卒採用を
見送る会社もある。

また、組合員の中で不安が
拡大しており、離職者も増
加している。とりわけJR
北海道では顕著である」と
指摘した。そのうえで、利
用回復に向けては、「国民
が抱く公共交通の利用への
不安や誤解の払拭に努めて
いただきたい。併せて、人
流回復・活性化に繋げる国
の政策の展開を求めたい」
と強く訴えた。



浜野喜史参議院議員

「採算性ある事業の
利益を不採算路線に
充当する内部補助の
みで活発に行われている。
また、連合からは、2月4
日の衆議院予算委員会参考
人質疑に村上副事務局長、
2月15日の同委員会中央公
聴会に石上博副事務局長
がそれぞれ派遣され、「雇
用保険制度の財政基盤確立」
や「ワクチン接種・検査体
制の確立」等、3産別の要
望に関連する項目について
意見を述べた。

また、同日の同委員会に
おいて、野田議員に続いて
質問に立った同フォーラム
所属の浜野喜史参議院議員
(比例区)は、JR連合が
第34回中央委員会できりま
とめた「持続可能な
地域公共交通をつく
るJR連合政策提言」
を踏まえての質疑を
行った。

JR連合の政策提言に基づく
地域公共交通に係る質疑がなされる
また、同日の同委員会に
おいて、野田議員に続いて
質問に立った同フォーラム
所属の浜野喜史参議院議員
(比例区)は、JR連合が
第34回中央委員会できりま
とめた「持続可能な
地域公共交通をつく
るJR連合政策提言」
を踏まえての質疑を
行った。

フォーラム議員が国土交通委員会で質疑 JR産業の苦境を訴え 地域公共交通のあり方を問う

客6社は会社発足後最大の
経常赤字を計上するなど極
めて厳しい経営環境に置か
れていると認識している」
と述べ、「人流の回復・活
性化に向けては、適切な時
期に、新たなGo Toトラ
ベル事業を実施できるよ
う準備を進めている」旨の
答弁を行った。

与・支援のあり方も含めて
前向きな議論を進めてい
きたい旨を答弁し、JR連
合の提言に賛同の意を示
した。

JR7単組の2022春季生活闘争要求及び妥結状況 (2022年3月24日時点)									
単組名	要求日	賃金		期末手当		妥結日		昨年実績	
		要求	妥結	要求	妥結	賃金	期末手当	ペア	期末手当
JR北労組	2月8日	基準内賃金1000円引き上げ	・ペア500円 ・所定昇給率4号俸とする定期昇給実施	別途要求	—	3月17日	—	0円	夏1.6ヶ月
JREユニオン	2月14日	・昇給係数「4」とする定期昇給の実施 ・基本給1000円引き上げ	定期昇給実施 (昇給係数4)	別途要求	—	3月17日	—	0円	夏2.0ヶ月
JR東海ユニオン (※1)	2月11日	・標準乗数「4」とする定期昇給の年度初完全実施 ・「総合生活改善の原資」として、月例賃金総額の2%相当、うちペア1000円	標準乗数4とする定期昇給実施	夏2.7ヶ月	夏2.2ヶ月	3月18日	—	0円	夏2.2ヶ月
JR西労組	2月4日	・基準昇給額表に基づく基準昇給の年度初実施 ・職務遂行給1000円引き上げ	基準昇給の年度初実施 (※2)	年4ヶ月分 (夏季・年末ともに2ヶ月分)	—	—	—	0円	夏1.3ヶ月
JR四国労組	2月14日	基準内賃金1000円引き上げ	定期昇給実施	別途要求	—	3月24日	—	0円	夏1.21ヶ月
JR九州労組	2月9日	・基本賃金1000円引き上げ ・年度末一時金10万円	・仕事給昇給額表に掲げる仕事給昇給の実施 ・年度末一時金3万円	別途要求	—	3月18日	—	0円	夏1.25ヶ月
貨物鉄産労	2月7日	・諸手当の改善等で4000円以上引き上げ ・昇給額表 (1.2) の金額を1000円引き上げ	・ペア 基本給に0.1%を上した額 (平均300円) ・定期昇給実施	年4.5ヶ月以上 (夏季2.1ヶ月以上 年末2.4ヶ月以上)	—	3月17日	—	0円	夏1.77ヶ月

※1 JR東海ユニオンは、個別賃上げ方式 (35歳ポイント賃金) ※2 JR西労組は回答を受け交渉継続中

マスカス
クをから
イマ
イチマ
三分
咲きです

我々の要求額とも乖離がある」との見解を示したが、昨今の会社を取り巻く情勢や経営状況を踏まえば、ベア実施の判断に至ったことは大いに評価できるとして席上妥結した。

《JR東海ユニオン》
JR東海ユニオンは3月

り巻く情勢を勘案するとともに、総合生活改善において多くの要求を実現を勝ち取ったことに鑑み、回答は、現時点で会社が出

交通共済



みんなの
交通共済
全国交通安全共済会

災害は避けられない。 安心はふやせる。

家族の幸せを災害から守る

**火災共済/地震風水害共済/
交通災害共済/入院共済**

契約引当団体：明治生命保険株式会社

は困難と判断し、妥結した。

《JREユニオン》

3月17日、JREユニオンは第3回団体交渉を行い、会社から、申6号「賃金引き上げの要求について」に対し、昇給係数4とする定期昇給の実施（基準内賃金の1人当たり平均増加額6311円）との最終回答が示された。

JREユニオンは、回答を持ち帰り協議し、現下の

低い若年層の組合員からは違和感を覚える。給与水準の差を示されたことはなく、違



7項目の制度改正の回答が示された。

回答を受けてJR九州労組は、ベアゼロ回答に大きな不満は残るものの、「業績が回復した場合の組合員への還元が不可欠」として求めた年度末一時金が示されたことなどから、現下の取

みんなで暮らしをガード
交運共済 (JR職域生協)
 全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

い。回答が示された。
 回答を受けて「JR四国労
 組は、今後も引き続き賃金・

下の取り巻く経営環境等を
唱まえ、これ以上の要求前進
は困難と判断し妥結した。

は困難と判断し、妥結した。



は第4回団体交渉を行い、
会社から仕事給昇給額表に
掲げる仕事給昇給の実施、
年度末一時金3万円、嘱託
再雇用社員の待遇改善など
7項目の制度改正の回答が

3月24日、J・R四国労組は第3回団体交渉を行い、云社から定期昇給の完全実施およびC単価の引き上げなど6項目の制度改正について回答が示された。

向の離職に歯止めをかけなければならぬ」と主張した。交渉終了後、持ち帰り業務対策委員会を開催し、ベア獲得はならなかったものの、現状の取り巻く経営環境等を

得た。従来の大手追随・準拠の構図から脱却しつつある。今次闘争も厳しい取り組みとなるが、連合が掲げる『未来づくり春闘』の

グループ労組の2022春季生活闘争の本格的なスタートを宣し、集会参加者とともに団結がんばろう

の底支え、働き方の変化を見据えたＪＲ産業への支援など適時適切に求めている」と述べ、さらに「組合員に不安が広がる厳しい時こそ、労働組合の真価が問われる。賃金や働き方改革に期待と関心を持って注目している組合員と向き合い、全員参加の２０２２春季生活闘争を作り上げていこう」と激を飛ばした。

続いて、幹事会が闘争方針を提起した。各分科会代表者からの決意表明では、各社を取り巻く厳しい経営環境が述べられ、労働諸条件の改善に精力的に取り組む決意が示された。

その後、集会アピールを全体で確認し、奥村代表幹事の団結がんばろうで氣勢



中国ロジスティクス労
書記長

小早川 太

合書記
物連合
います。
ルでコ
東の横
西の横
比べる
になり
最優先
す。
瀬野
事故が

発生し、多くの方
しました。脱線原
なっていますが
る偏積が認められ
社・荷主様からの
めにも、「偏積の
貨車には載せない
に構築するよう」
かけていきたいと
未曾有の大災害
間もなく4年が経
は毎年のように大

し得る最大限のものと判断
し、妥結した。

《JR九州労組》

組合
JR貨物連合

「迷惑をおかけ
はまだ明らかに
許容範囲を越え
おり、各旅客会
員を取り戻すた
めには絶対的
に「飽きの
ない」
サービス」を早期
に実現すべしと
訴えています。

西日本豪雨から
1週間が経ちま
す。広島県
被害に見舞われ
、

り巻く経営環境等を踏まえ、
これ以上の要求前進は困難
と判断し、席上妥結した。

夏が近づ
き起る
ます。J
道強靱化
一員とし
ります。

私は、本
廿日市に
の宮島」
「飽きの
ナ禍で制
れていま
には、是
日本グル
観光にお
蠣・もみ
食べに来
指導・鞭

度に、「今年もまた災害
たるうか」と不安に陥り
連合は、災害に強い「鉄
道を進めています。その
微力ながら尽力してまい
ります。」と答えた。コ
ロ島ですが（笑）。コロ
島は、ある生活を余儀なく
さるが、コロナが収束した際
新幹線を利用しJR西
フホテルに泊まり、宮島
で頂き、お好み焼き・牡
蠣等、広島名物を沢山
ください。今後とも、ご
ちそう願います。

中国ロジスティクス労働組合
書記長
小早川大幸さん
(JRR貨物連合)

夏が近づく度に、「今年もまた災害
 が起きるのだろうか」と不安に陥り
 ます。JR連合は、災害に強い「鉄
 道強靱化」を進めていますが、その
 一員として微力ながら尽力していま
 います。